

【議会報告会】

- デマンドタクシーについて、資料には議員から市へ対象範囲の改善を要望したことや、市からの回答が記載されているが、その内容を確認したい。
- ⇒議員 市からは鉄道やバスなどの既存の公共交通機関の利用者数に影響が及ぶため、利用要件の緩和は慎重に行う必要があり、事業の今後については市民から寄せられる意見を基に制度内容を検討していきたいとの答弁があった。

【シティ・ミーティング】

- 災害発生時には配水池で水を配るなど、発災時の具体的な市の対応が不明確なので、災害対応マニュアルに具体的な市の対応を記載してほしい。
- ⇒議員 日常では飲料水として使う水でも、災害発生時には不純物が混入している可能性があり、検査を経ないと飲料水としては使用できないなど、災害状況により対応が異なるため、明確にできない部分があると考えます。
- 発災時に応急給水所が設置された場合、誰が行っても水がもらえるのか。それであれば、応急給水所の場所だけ広報すればいいのではないかと。
- ⇒議員 応急給水所には誰が行っても水をもらうことができるが、災害によって給水所の設置される予定の場所が使用できるとは限らず、供給量も不明確であるので、各自が無制限に水をもらうことができるというわけではない。給水車が向かうことができない場合もあるので、個人で備蓄する必要がある。
- 住んでいる地域が市街化調整区域で下水道の接続外区域になっている。公共下水道に接続してもらえるのか、今後の計画を確認したい。
- ⇒議員 市の方針としては、市街化調整区域には下水道を引かないことになっている。下水道の布設について要望を出すことは可能だが、宅内へ引き入れる費用は自己負担である。住宅地が増えて必要性は高まっているが、布設する計画を立てたときに実態として公共下水道を利用しない家庭が多いと、布設は実現しない。
- 四日市市は南北に移動する道路が少なく、渋滞しやすい。特に三滝川を越える道路は配置が悪く感じている、どのように計画を立てているのか。しっかりと議会でも議論してほしい。
- ⇒議員 三滝川は県が所管する河川であり、周辺道路も県道である。そのため県が対応することになるが、市民の声を伝えることは市議会の役目であるため、しっかりと県に要望してい

きたい。

- 地区の通学路になっている道路に路側帯の白線を引いてほしいと市に要望しているが、なかなか対応してもらえない。高齢者も通る道なので対策をしてほしい。

⇒議員 その市道はかつては農道だったが、周辺に住宅が増えて交通量が増えている。市の機構改革によって所管部署が変わり、きめ細かい対応ができていない現状がある。

- 災害発生時には積極的にヘリコプターを使用すべきと考えており、もっとヘリポートを整備すべきである。

⇒議員 輸送ヘリコプターが着陸できるヘリポートの整備は国が計画しており、県が設置場所を増やすように要望していると聞いている。